

進路だより

令和 元年 7月18日
大阪府立守口支援学校
進路指導部 発行第1号
元 学 内 第121号

『2019 年度 春の同窓会』

5月12日(日)に第23回同窓会定例総会が体育館で行われました。

毎年卒業生の輪が広がっていく中、本校の前身である寝屋川養護学校分教室、平成7年度卒業生の方をはじめ同窓生は100名、保護者、教員を加え、130名以上の人々が集まりました。

総会では、昨年度の卒業生の紹介が行われました。

紹介ビデオなどもあり、みなさん温かい拍手で同窓生の一員として迎えられました。

今回、総会の最後に卒業生が2019年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アブダビに日本代表として出場した報告もありました。みごと入賞され、メダルも見せていただきました。

終了後は、お楽しみのレクリエーションがありました。ジュースやお茶を飲んだり、お菓子を食べたりしながらおしゃべりをする人、得意のカラオケを熱唱する人、バスケのシュートゲームを楽しむ人など楽しい時間はあっという間に過ぎました。

最後に全員で記念写真を撮影し、再会を約束しての解散となりました。

次回の秋の同窓会は11月10日(日)に実施を予定しています。



(集合写真)

『中学部3年生 寝屋川支援学校高等部見学』

6月8日(金)に、寝屋川支援学校高等部の授業見学へ行ってきました。学校が大きいことに驚いている生徒がたくさんいました。到着後は2グループに分かれて高等部の授業で使う教室を中心に見学しました。園芸や窯業などの作業を見学した後、休憩を挟んで国数の授業を見学しました。守口支援学校の中学部を卒業した先輩たちが頑張っている様子を見て、高等部への進学を楽しみにする声も聞かれました。

『PTA 施設見学会』

卒業後に利用する福祉サービスを提供されている守口市、門真市の10ヶ所の事業所の見学を6月から7月にかけて設定しました。PTA 会員に先に配布している「守口・門真市福祉施設案内」の冊子を見ながら、事業所の方からサービス概要の説明をしていただき、施設設備や利用者の方々の取り組みの様子を見学し、最後は質疑応答という流れで行いました。質疑応答では、実際に利用した場合を想定した質問が出ていました。

①「マンボウと海がめ」(就労継続支援B型)では、素材にこだわった食パンを製造、販売をされています。始業前のミーティングの様子も見学させていただきました。②「IGNIS(イグニス)」(B型)では、名刺作成や広告の印刷等をされている施設を見学しました。③「アップルツリー」(B型)では、軽作業に取り組みれていました。また、ハンドメイドでアクセサリや小物など利用者の方が製作した作品がたくさん飾られていました。みなさん素敵な作品に興味を持たれていました。④「就労継続支援ようき・すなお第1」(B型)では、軽作業や張り子の製作に取り組みれている様子を見学しました。⑤「L.I.J(エルアイジェイ)」は就労移行支援事業所で、2年間の中で企業就労を目標とし、パソコンスキルを磨かれていました。⑥「くらし工房けいはん」(B型)では、軽作業の様子を見学し、見学会終了後は1階のカフェでランチをされる方もたくさんいらっしゃいました。⑦「あさつゆ」(B型)は1月に開所したばかりの新しい事業所です。広々とした作業場で箱折りの軽作業に取り組みれていました。⑧「ヒマワリホーム」(B型)は、理科教材の組み立て作業などをされています。利用者の方々が集中して作業されている様子にみなさん驚かれていました。⑨「こもれび」(生活介護・B型)では、生活介護、B型の利用者の方それぞれができることに合わせた軽作業に取り組みれている様子を見学しました。⑩「グッディーホーム」は移転され新築の建物になりました。事業所名も「GOODY 大日」となりました。明るく広々とした中で作業に取り組みれている様子を見学しました。

施設見学会は、実際に事業所を訪れることで、それぞれの事業所の特徴や立地環境、取り組みを知る良い機会だと思います。秋には保護者からの希望をもとに引き続き見学会を実施する予定です。お時間がありましたら、是非参加していただければと思います。



マンボウと海がめ



あさつゆ



くらし工房けいはん

【見学の感想】

- ・まだ小学部なのでまだまだイメージはできないですが、気になる事業所の見学会に参加したいと思います。
- ・はじめて見学させてもらいましたが、参考になりました。それぞれに良い所があり、将来の様子が少し見えて少し安心しました。
- ・人数も少なく、静かな中での作業の様子を見せていただきました。同じことをするのではなくて色々な内容の作業をされている様で変化がありよかったです。

『福祉懇談会』

福祉懇談会は、高等部3年生の保護者対象に毎年5月下旬に実施しています。今年度は守口市障がい者基幹相談支援センター、守口市障がい福祉課など10機関13名の参加をいただき、来春の卒業後の進路決定に向け、顔合わせや意見交換を行いました。最初は、進路担当者から3年生の進路の流れを説明しました。次に、保護者からの自己紹介の場面では、子どもさんが興味を持っていることや親としての想いを話されていました。また、障がい福祉課からは、18歳の手続きについての説明や今年度から虐待の窓口になったことなどのお話がありました。また、福祉サービス利用の「介護給付」「訓練等給付」の違いについても詳しく説明して頂きました。高等部3年生の保護者は13名の参加があり、卒業までの手続きや障がい者手帳の更新についての情報を共有する良い機会となりました。



『守口・門真市福祉施設案内冊子について』

6月下旬に、守口、門真市内の日中活動系の福祉事業所の情報をまとめた施設案内冊子第10版を全校配布しました。今年度も、PTAと学校から予算をいただき、外部へ発注し作成いたしました。守口市で3施設、門真市で6施設の新規事業所が追加で掲載されています。この冊子は地域の施設見学会時にも活用しています。今後も日々の地域連携の中で正確かつ迅速な情報提供に努めたいと思っています。保護者の皆様も、この冊子を有効にご活用下さい。



『高等部 校内実習』

高等部は6月10日（月）～6月21日（金）の2週間、木工・窯業・紙工・縫製・S4の5種目に分かれ、校内実習を行いました。

1年生にとっては初めての校内実習で1～3コマの全ての時間が作業となるので不安もあり緊張した様子でした。2年生は初めて後輩と一緒に作業をするため、先輩としての責任感がつきました。3年生は3年間かけて磨いてきた技術を後輩に見せ、伝える良い機会になりました。

それぞれの作業班が、最終日の即売会に向けてみんなで協力し製品作りに取り組みました。木工（ストレッチボード・スマホスタンド）、窯業（小皿・ペーパーウエイト）、縫製（かばん・コースター・ペンケース・ティッシュケース等）、紙工（しおり・一筆箋・シール等）、S4（てぬぐい）とたくさんの製品が出来上がりました。

今年度は、S4も初めて販売に向けて製品作りに取り組みました。縫製班とのコラボレーションで、縫製班が下処理したさらしをS4で絞り染めし、てぬぐいを作りました。みんなの力を一つにして集中して作業に取り組み、最終日の即売会を無事に迎えることができました。

即売会では、カー杯声を出して接客も頑張りました。自分たちの作った製品が次々と売れていき、笑顔で買って下さるお客様と実際に接して大きな喜びと達成感を味わえたと思います。

翌週に行われた、全体の振り返りでは、各作業班からの報告と、体験・現場実習に行っていた職業コースの生徒からの報告もありました。

一人ひとりが自分の目標に向かって頑張った充実した2週間となりました。

即売会では、たくさんの製品をお買い上げいただきありがとうございました。



（初日 ガイダンスの様子）



即売会

